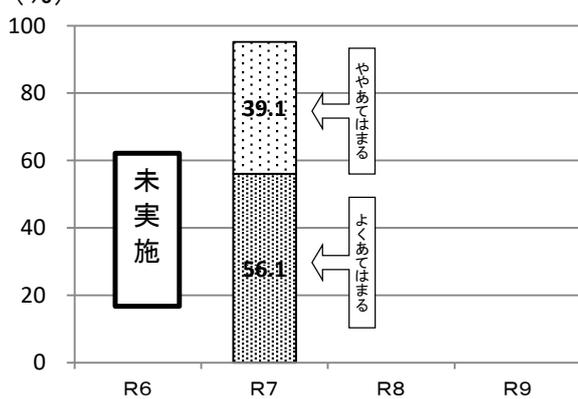
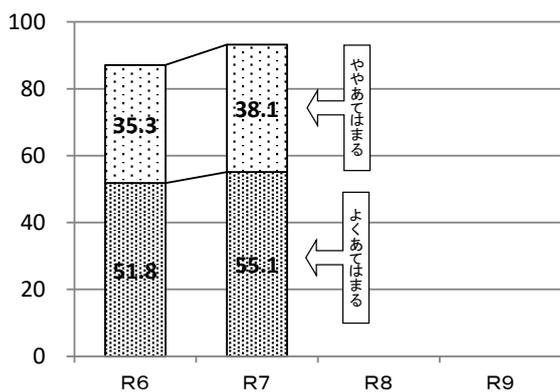


保護者アンケートより

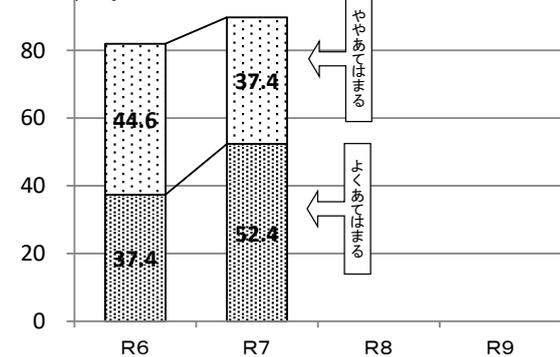
15 お子さんは、「奥小がすき」だと思いますか。



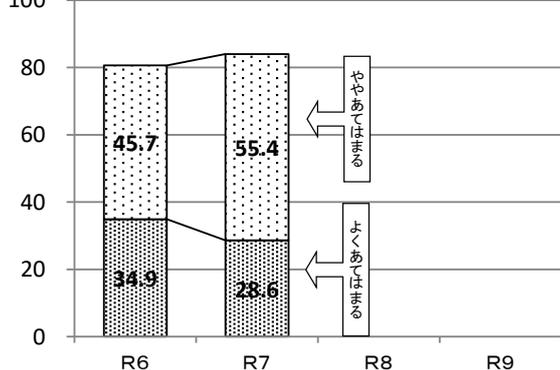
20 お子さんは、楽しく学校に通っていますか。



8 学校は、お子さんの成長につながる行事(ふれあい遠足・校外学習・体育発表会など)や取り組みをしていると思いますか。

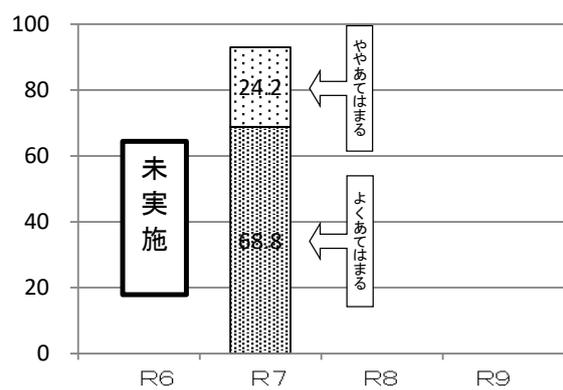


19 お子さんは、授業が分かりやすいと言っていますか。

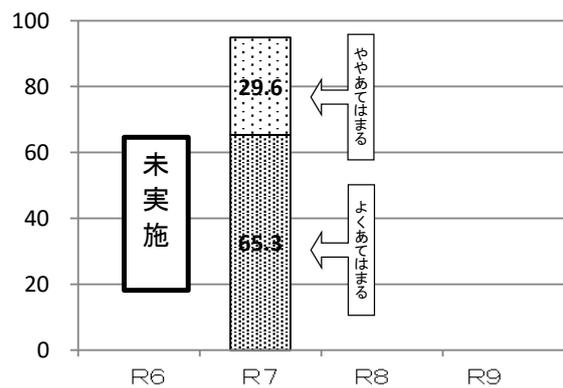


児童アンケートより

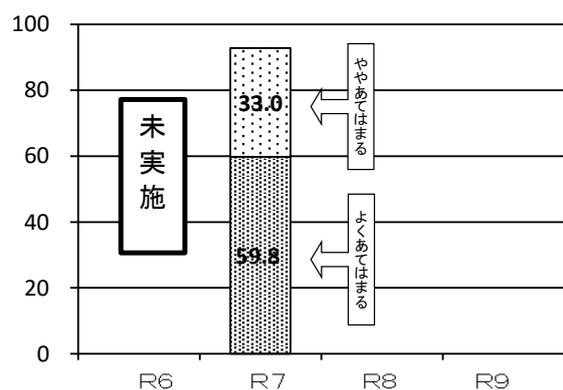
21.「奥小がすき」ですか。



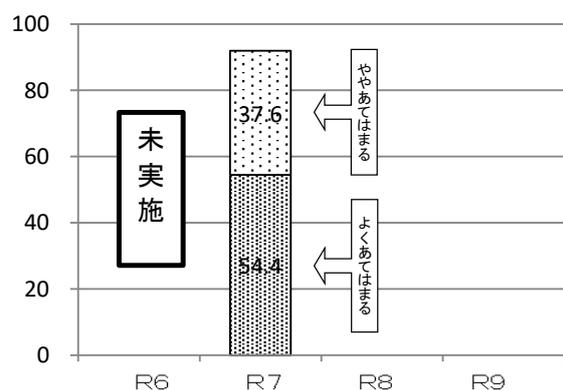
1.学校は楽しいですか。



2.学校行事は楽しいですか。

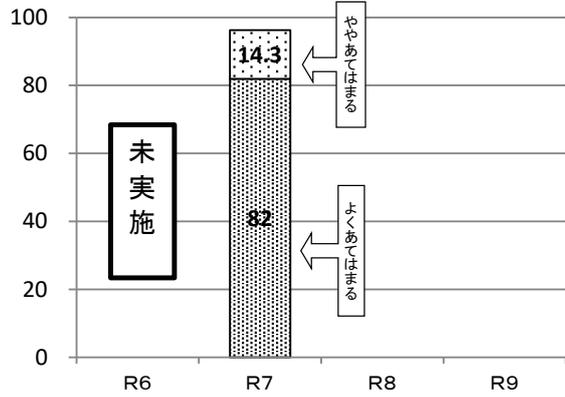


3.じゆぎょうは分かりますか。

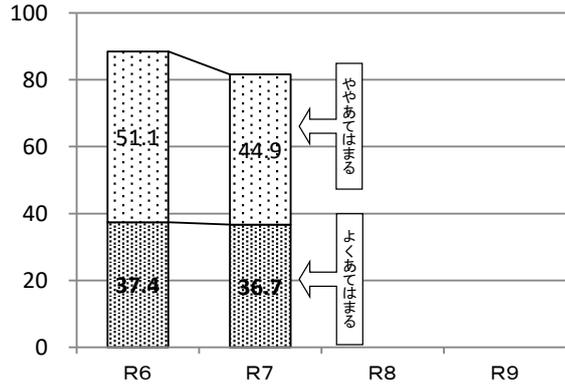


保護者アンケートより

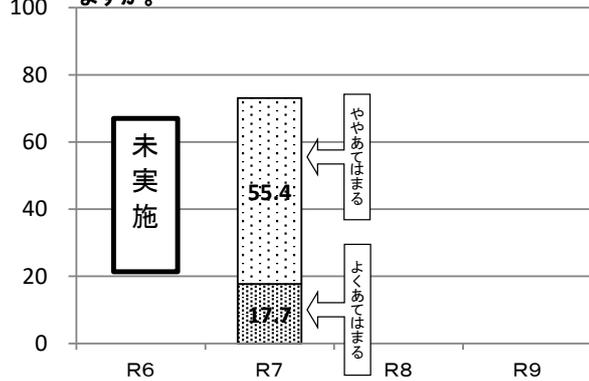
(%) 16 お子さんは、朝食を毎日きちんとしていますか。



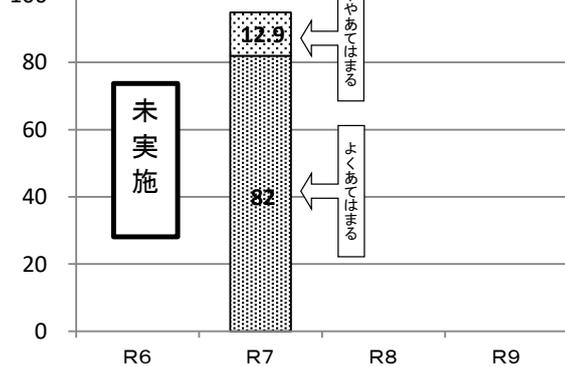
17 お子さんは、あいさつを進んで行っていますか。



22 お子さんは、正しい言葉遣いができていると思いますか。

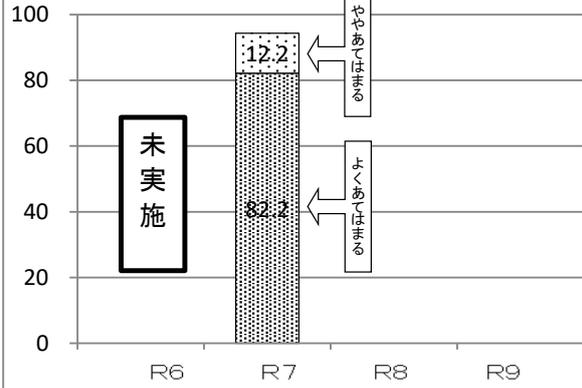


23 お子さんは、自転車に乗るとき、必ずヘルメットを着用していますか。

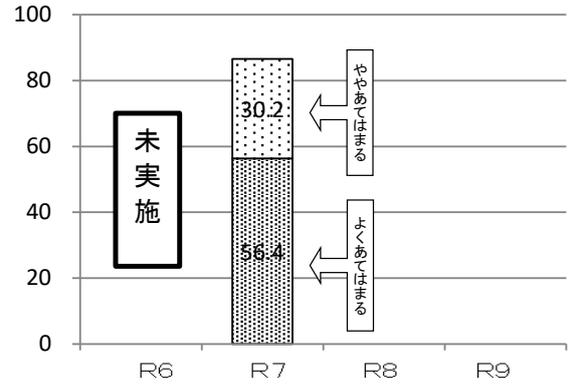


児童アンケートより

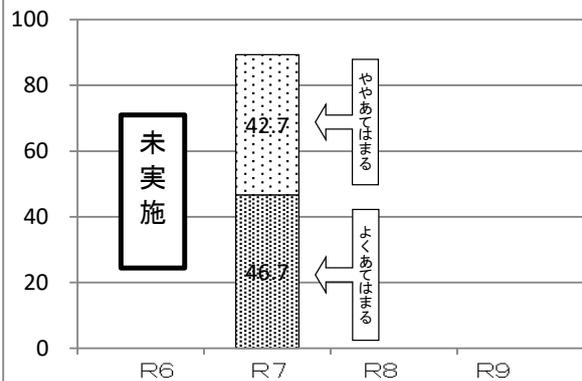
13.朝食を毎日きちんとしていますか。



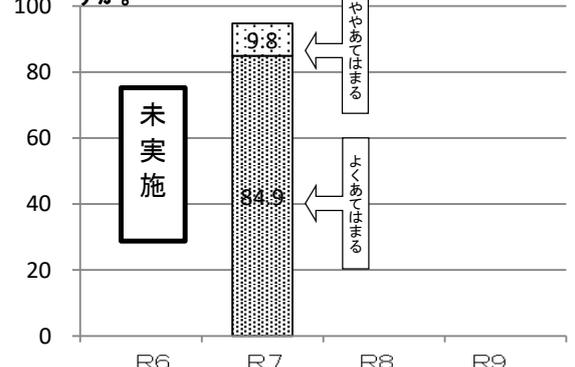
14.あいさつを進んで行っていますか。



17.正しい言葉づかいができていますか。

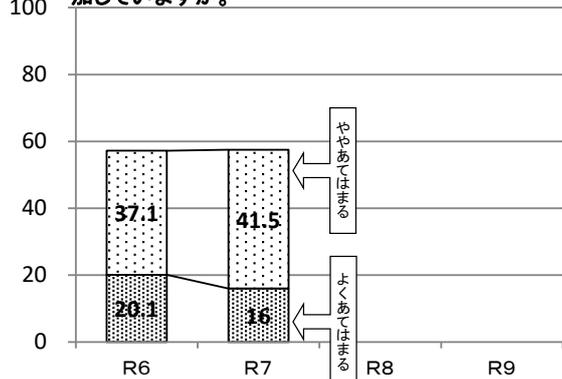


18.自転車に乗るとき、必ずヘルメットを着用していますか。

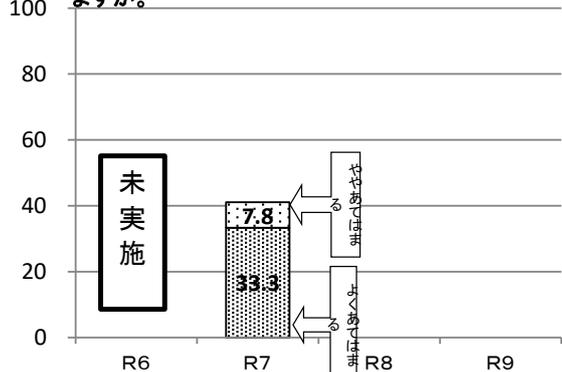


保護者アンケートより

(%) 18 お子さんは、地域の人々との交流活動の場に参加していますか。

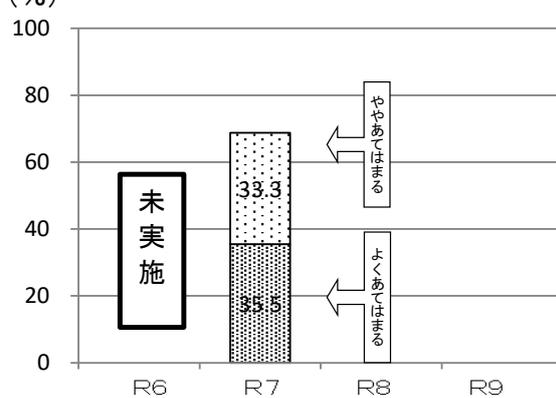


24 お子さんは、携帯電話やスマートフォンを持っていますか。

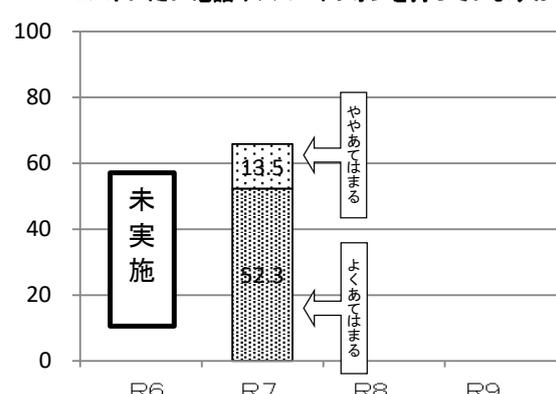


児童アンケートより

(%) 15.ちいきの行事に参加していますか。



19.けいたい電話やスマートフォンを持っていますか。



【令和7年度教育活動評価アンケート結果のご報告と今後の方針について】

今回の結果からは、子どもたちが学校生活を楽しみ、充実感を持って過ごしている様子とともに、家庭と学校が連携して取り組むべき新たな課題も見えてきました。

(1) 学校生活への満足度と行事の評価

- ・「奥小がすき」: 多くの児童が「奥小がすき」と回答しており、学校への愛着が非常に高いことがわかりました。「奥小がすき」の評価項目では、児童の93%（「よく」68.8%+「やや」24.2%）が肯定的に回答しています。保護者の皆様の視点でも、約95%が「お子さんは奥小が好きである」と感じておられます。
- ・学校行事: ふれあい遠足や体育発表会などの行事が「子どもの成長につながっている」という保護者の評価は、昨年度の82.0%から89.8%へと向上しました。児童の92.8%も行事を「楽しい」と感じており、行事が充実していたことが伺えます。

(2) 学習面と規範意識の現状

学習や生活態度については、児童と保護者の認識に差が見られる項目がありました。

- ・授業の理解度: 児童の約92%が授業を「分かる・どちらかと言えばわかる」と感じていますが、保護者の皆様からは「子どもから授業が分かりやすいという声を聞く」という回答が84.0%にとどまっています。
- ・言葉遣いと挨拶: 「正しい言葉遣い」ができていると答えた児童(89.4%)に対し、保護者からの肯定的な評価は73.1%でした。また「進んで挨拶する」という項目でも、学校での自己評価(86.6%)と家庭での姿(81.6%)に開きがあります。

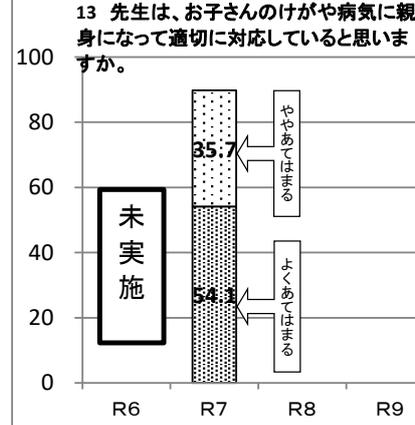
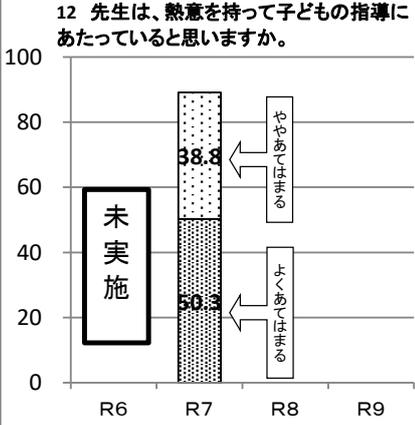
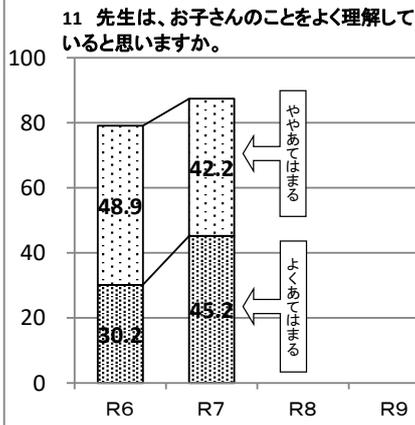
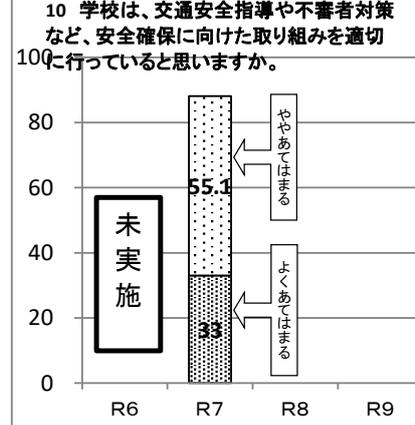
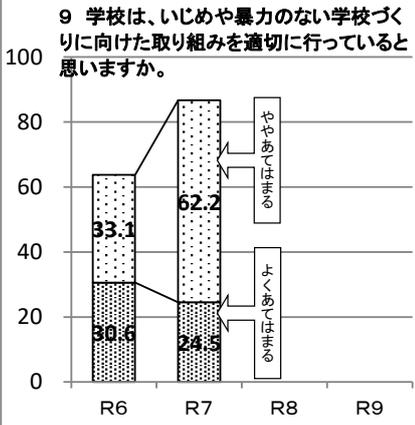
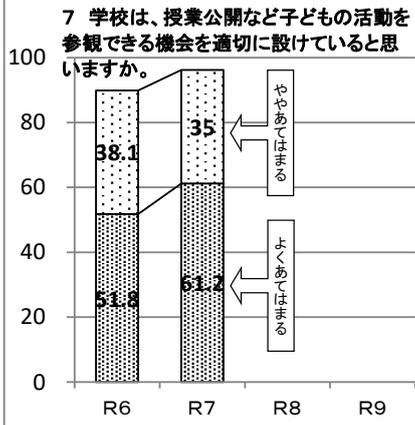
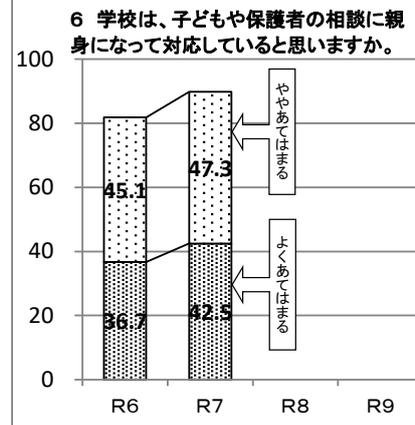
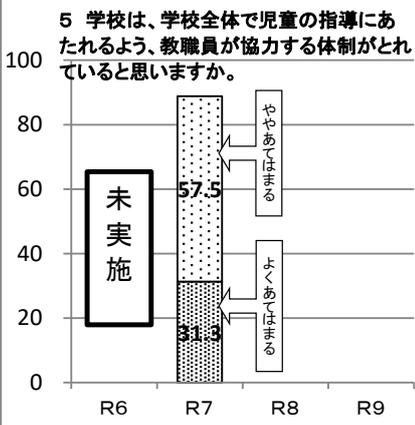
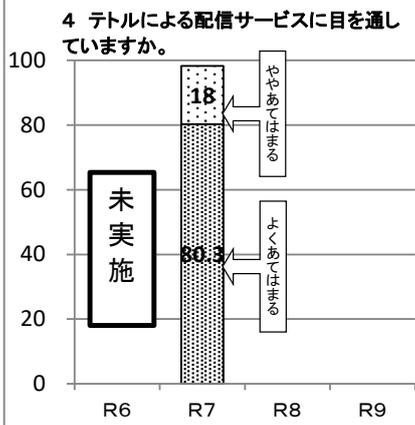
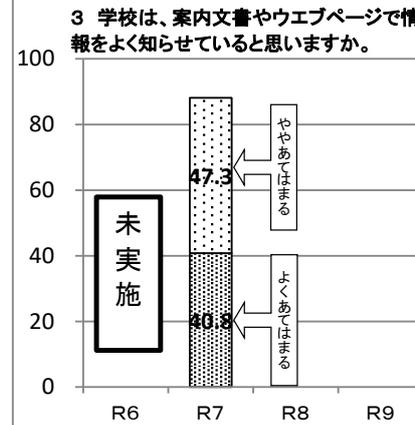
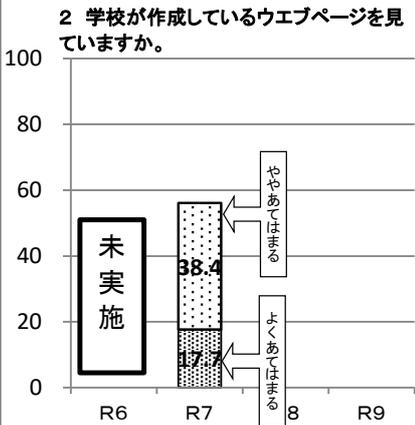
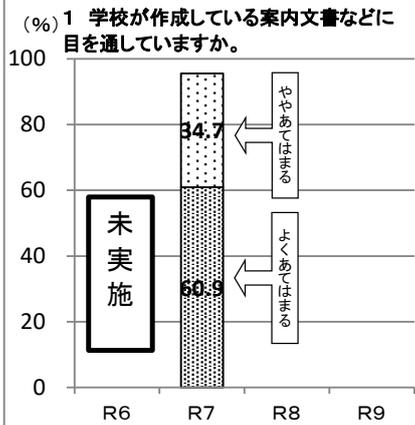
(3) 安全面と生活習慣

- ・安全と健康: 朝食を毎日摂ること(約94.4~96.3%)や、自転車ヘルメットの着用(約94.7~94.9%)については、家庭でのご指導のおかげで非常に高い水準で定着しています。
- ・スマートフォン等の利用: 児童の52.3%が「持っている」と回答しており、保護者の認識(33.3%)と差が生じています。意図しない利用やトラブルを防ぐため、ご家庭での把握とルール作りがますます重要になっています。

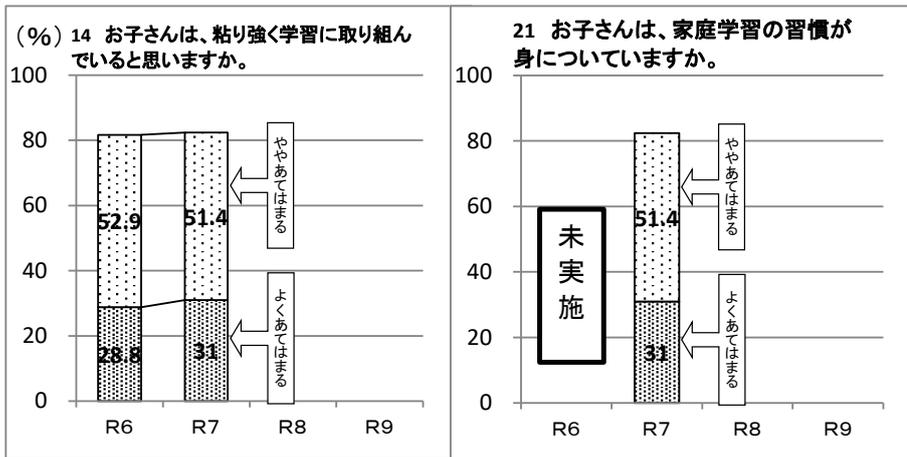
○今後の取り組みについて

アンケート結果を真摯に受け止め、本校では今後、「学習内容のより丁寧な発信」と「規範意識のさらなる向上」に重点を置いてまいります。子どもたちが学校で「何を感じ、何を学んだか」をより実感を持ってご家庭に伝えられるように努めるとともに、挨拶や言葉遣いといった基本的な生活態度の育成についても、学校と家庭で歩調を合わせて取り組んでいければと考えております。

保護者アンケートより(その他の質問項目) 1



保護者アンケートより(その他の質問項目) 2



(4) 学校からの情報発信とコミュニケーション

「テトル」による配信サービスについては、98.3%（「よく」と「やや」の合計）が目を通していると回答しており、非常に高い閲覧状況にあります。学校作成の案内文書についても、約95%（「よく」と「やや」の合計）が目を通している一方で、ウェブページの閲覧（「よく」と「やや」の合計が56.1%）には課題が見られます。情報提供全般については、約88%の保護者が肯定的に捉えています。

(5) 教職員の対応と児童理解

「先生がお子さんのことをよく理解している」という項目で、「よくあてはまる」との回答が前年度（R6）の30.2%から45.2%へと大幅に向上しました。（「よく」と「やや」の合計は前年度（R6）の79.1%から87.4%へと向上）

相談への親身な対応（Q6：計89.8%）や、怪我・病気への適切な対応（Q13：計89.8%）については、より一層の向上に向けて取り組むとともに、検証を続けていきます。

(6) 安全確保といじめ対策

いじめや暴力のない学校づくりへの取り組み（Q9）については、肯定的な回答（「よく」と「やや」の合計）が前年度の63.7%から86.7%へと大きく増加しました。

交通安全や不審者対策（Q10）についても、約88%が適切であると回答しています。

(7) 学習習慣と児童の様子

児童の粘り強い学習への取り組み（Q14）や家庭学習の習慣（Q21）については、肯定的な回答が約8割を超えていますが、「よくあてはまる」の割合は31%に留まっており、さらなる向上の余地があります。

○今後の取り組みについて

・情報共有の最適化とデジタル活用の促進

「テトル」を中心とした迅速な情報発信を維持しつつ、ウェブページの活用内容を見直し、より学校の様子が伝わる発信に努めます。

・個に応じた指導と相談体制の充実

向上傾向にある「児童理解」をさらに深めるため、担任だけでなく学校全体で児童を見守る協力体制を強化し、保護者の皆様との連携を密にします。

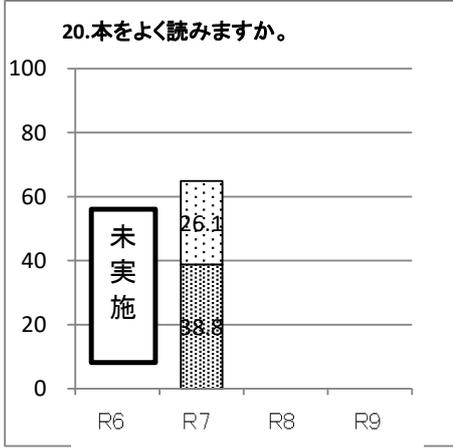
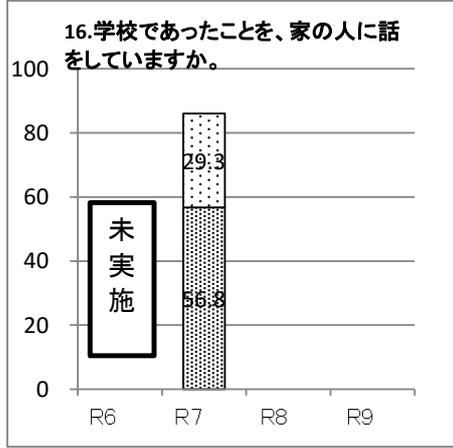
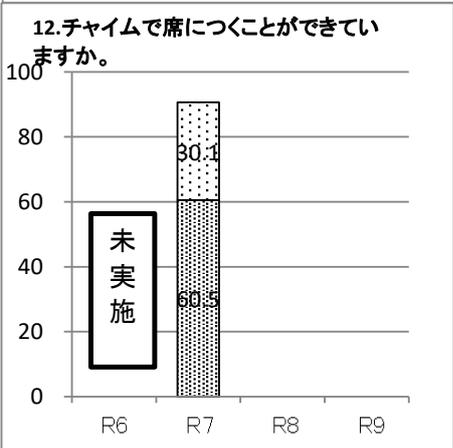
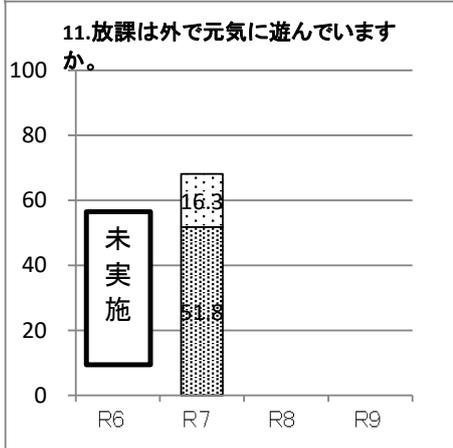
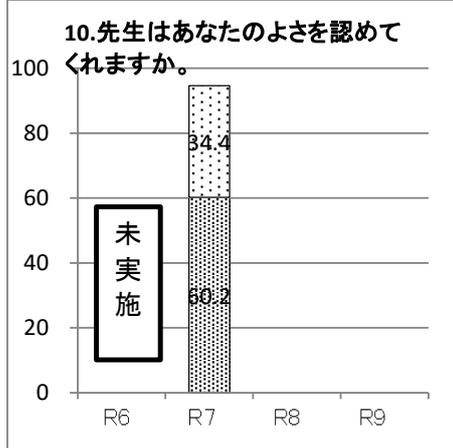
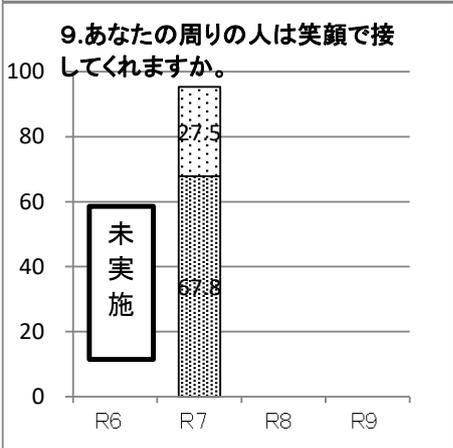
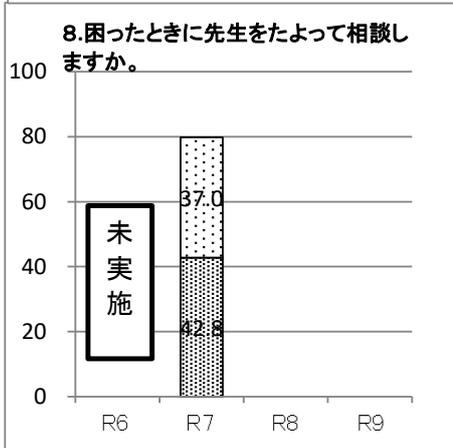
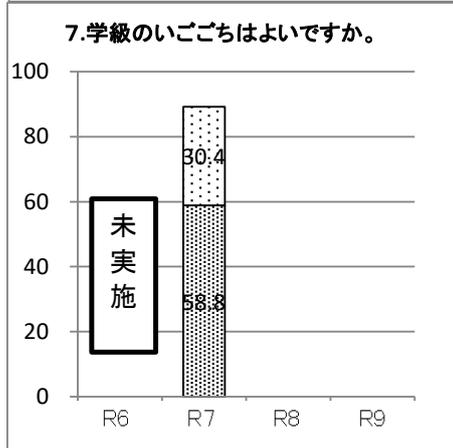
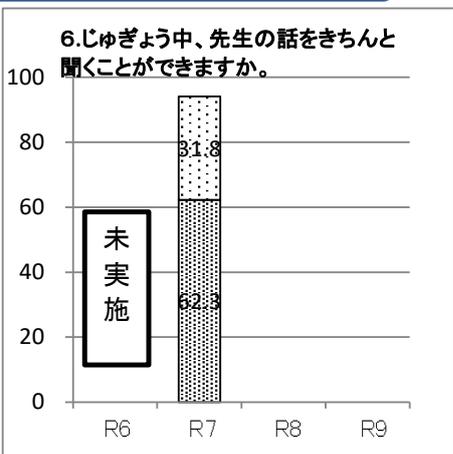
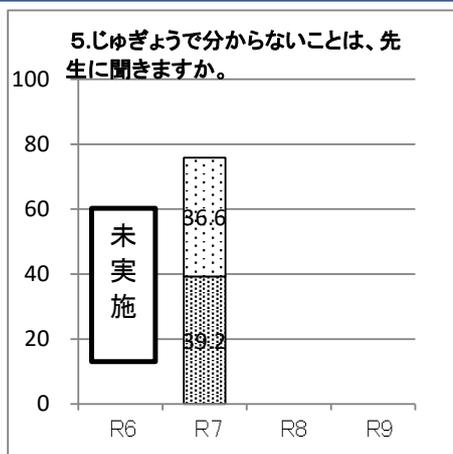
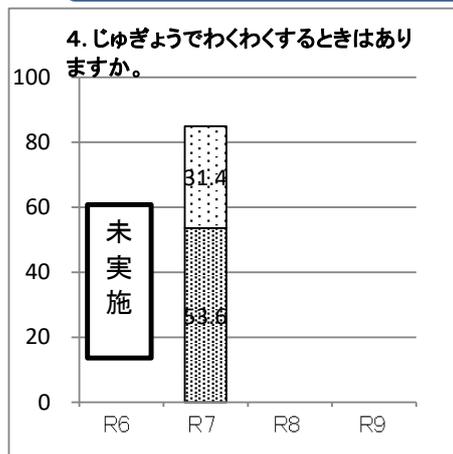
・安心・安全な教育環境の継続的な整備

評価が大幅に改善したいじめ対策や安全指導について、現状に満足することなく、未然防止と早期対応の徹底を継続します。

・家庭と連携した学習習慣の定着支援

児童が粘り強く学習に取り組む、家庭学習が定着するよう、学校での指導と家庭への働きかけの両面から支援を強化します。

児童アンケートより(その他の質問項目)



＜児童アンケートをまとめて＞

児童の回答からは、学校生活全般に対する肯定的な意識が高いことが伺えました。

• 良好な学級・対人関係

「学級の居心地のよさ」については、89.2%の児童が肯定的に捉えています（「よく」と「やや」の合計）。

「周りの人が笑顔で接してくれる」という回答も計95.3%に達しており、学校内の人間関係が非常に良好であることがわかります。

• 先生との信頼関係

「先生が自分の良さを認めてくれる」と感じている児童は計94.6%と非常に高く、自己肯定感の向上に繋がっています。

困ったときに先生を頼る児童も計79.8%となっています。

• 学習への取り組み

「先生の話をきちんと聞く」姿勢は計94.1%と定着していますが、「授業で分からないことを質問する（計75.8%）」や「授業でわくわくする（計85.0%）」といった項目は、他の項目と比較するとやや低めであり、主体的な学びへの意欲向上に伸びしろがあります。

• 生活習慣と読書

学校での出来事を家の人に話している児童は計86.1%おり、家庭とのコミュニケーションが図られています。

一方で、「本をよく読む」については、肯定的な回答が64.9%に留まっており、読書習慣の育成が課題です。

○今後の取り組みについて

• 「主体的・対話的で深い学び」のさらなる推進

児童が「わくわく」し、自ら疑問を解決しようと質問できる授業づくりをより一層推進します。

• 読書習慣の定着支援

図書館の活用や家庭での読書推進に取り組み、児童の知的好奇心を刺激します。

• 相談体制と見守りの継続・強化

良好な児童・教師関係を維持し、一人ひとりの良さを認め、困りごとに迅速に対応する体制を継続します。

• 家庭との連携強化

学校での活動をより多角的に発信し、家庭での会話のきっかけを増やすとともに、学習習慣の確立に向けた家庭との連携を推進します。